

# 学童保育に関するニーズ調査 報告書

平成26年（2014年）6月

茨木市

## 目 次

### 1 調査概要

- 〔1〕 調査目的
- 〔2〕 調査対象
- 〔3〕 調査方法
- 〔4〕 調査期間
- 〔5〕 調査内容
- 〔6〕 回収状況
- 〔7〕 報告書における表及び図の見方

### 2 調査結果

- 〔1〕 回答者と児童の続柄について
- 〔2〕 回答者の基本項目について
  - (1) 小学校区別児童数
  - (2) 世帯構成
  - (3) 面倒をみてもらえる人
  - (4) 相談できる人・場所
  - (5) 父母の就労状況
- 〔3〕 学童保育を利用する理由について
- 〔4〕 現在の利用と希望する利用内容について
  - (1) 利用頻度と利用時間
  - (2) 時間延長
  - (3) 土曜日利用
- 〔5〕 敷地外での学童保育の実施について
- 〔6〕 児童が増加した場合の対応について
- 〔7〕 4年生以降の放課後の過ごし方について
- 〔8〕 自由意見

#### <資料>

- 調査票

## 1 調査概要

### 〔1〕 調査目的

児童の健全な育成を図り、保護者の就労を支援する学童保育に対する利用者ニーズを把握し、今後求められる施策を検討する基礎資料を得ることを目的に実施した。

### 〔2〕 調査対象

平成 25 年 11 月 30 日現在の学童保育利用者全世帯 1,389 世帯

### 〔3〕 調査方法

利用学童保育室を通じて配付（一部、郵送による配付）・回収

### 〔4〕 調査期間

平成 25 年 11 月 27 日（水）～12 月 17 日（火）

### 〔5〕 調査内容

質問番号	質問項目
問 1	回答者と子との続柄
問 2	小学校区と子の学年
問 3	世帯構成①（子の人数、きょうだいの年齢）
問 4	世帯構成②（保護者、祖父母等）
問 5	子の面倒をみてくれる人の有無
問 6	相談ができる人・場所の有無
問 6-1	相談ができる人・場所の詳細
問 7	父母の就労状況
問 8	学童保育を利用する理由
問 9	現在の利用内容と、希望する利用内容
問 9-1	時間延長を利用しない理由
問 10	18 時までの迎えの可・不可
問 10-1	延長時に迎えに行く者
問 11	19 時までとした場合の利用希望の有無
問 11-1	19 時までとした場合の希望する利用頻度
問 12	土曜日利用登録の有無
問 12-1	土曜日の現在の利用内容と、希望する利用内容
問 12-2	土曜日利用が少ない理由
問 13	学校の敷地外での学童保育の実施
問 14	児童増に対する対応
問 15	4 年生以降の放課後の過ごし方
問 16	意見（自由記述）

〔6〕回収状況

	配付数	有効回答数	有効回答率
学童保育利用者世帯	1,389 世帯	1,072 世帯	77.2%

〔7〕報告書における表及び図の見方

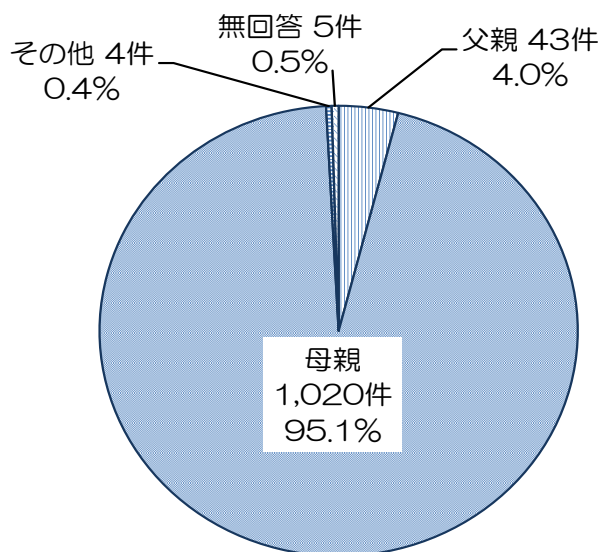
- (1) グラフや数表では、各質問の対象を基数とした百分率（％）で回答比率を示している。百分率（％）は、原則として少数第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%を前後する場合がある。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超える。

## 2 調査結果

### 〔1〕回答者と児童の続柄について

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さん（以下、あて名のお子さん）からみた関係で、あてはまる番号に1つだけ0をつけてください。

【回答者】



対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,067 件

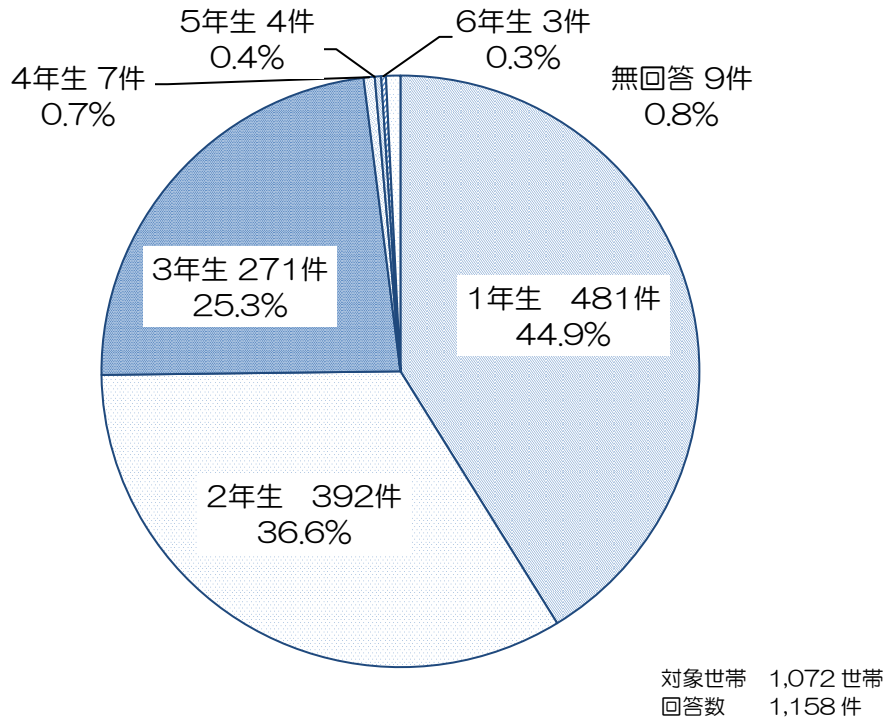
回答者の95.1%（1,020件）が母親で、大部分を占めており、父親の回答率は4.0%（43件）である。日常の学童保育室との連絡等は、母親の役割となっている世帯が多いことがうかがえる。

〔2〕 回答者の基本項目について

(1) 小学校区別児童数

問2 お住まいの小学校区と、あて名のお子さんの学年をご記入ください。

【子の学年】



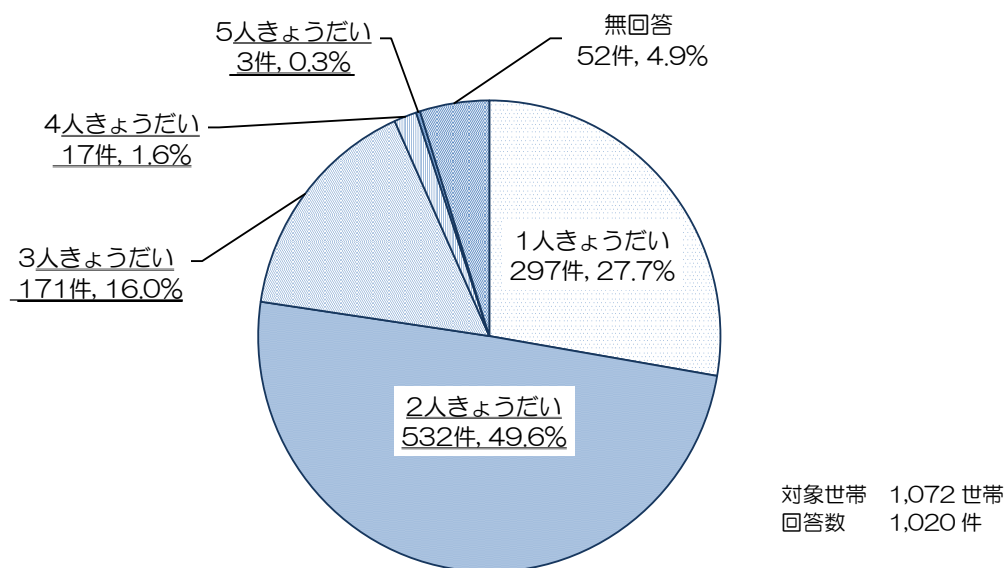
学童保育の利用は、1年生の利用が44.9%（481件）で最も多く、次いで2年生の利用が36.6%（392件）と、1、2年生の利用が約8割を占めており、学年が上がるごとに、入室児童数は減少している。

なお、4年生以上の入室児童は、第3学年から継続して入室している支援学級又は特別支援学校に在籍する児童である。

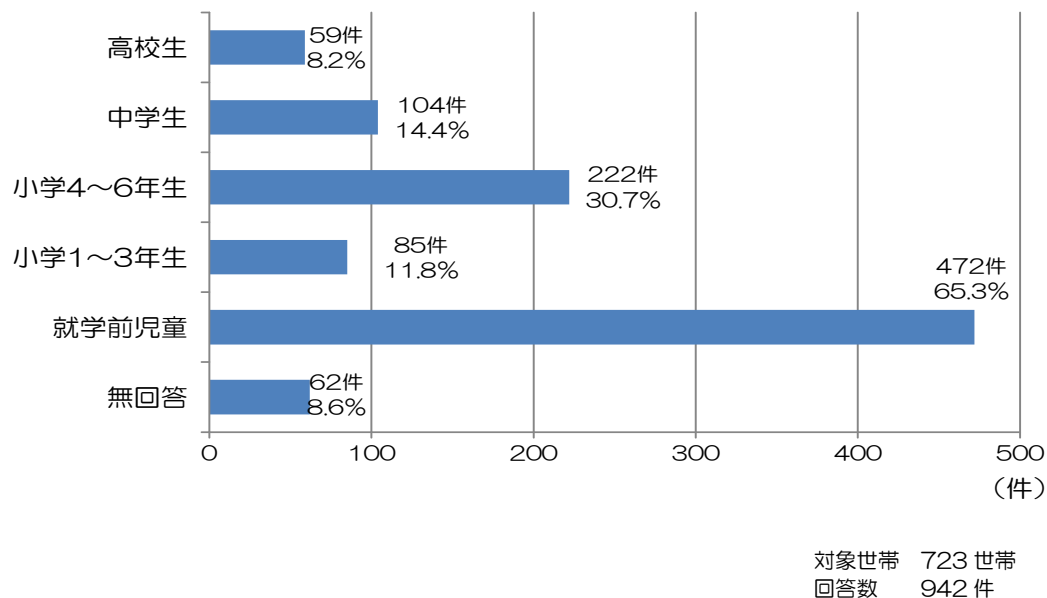
## (2) 世帯構成

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さん以外にお子さんがいらっしゃる場合は、年齢についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

【子の人数】



【きょうだいの年齢】

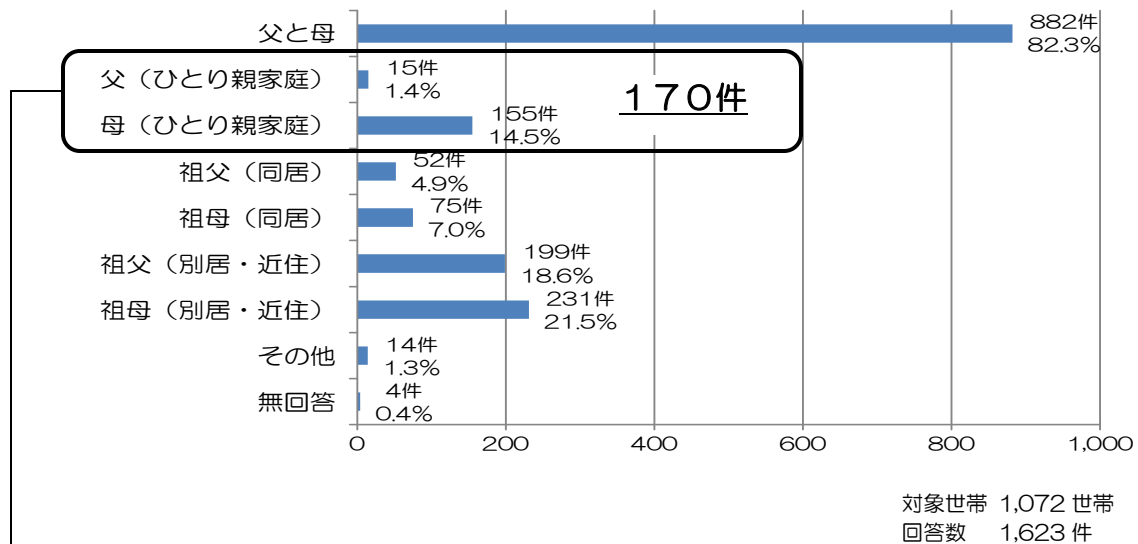


学童保育利用者世帯の子の人数は、2人が49.6%（532件）、次いで1人が27.7%（297件）と少子化の傾向が表れている。

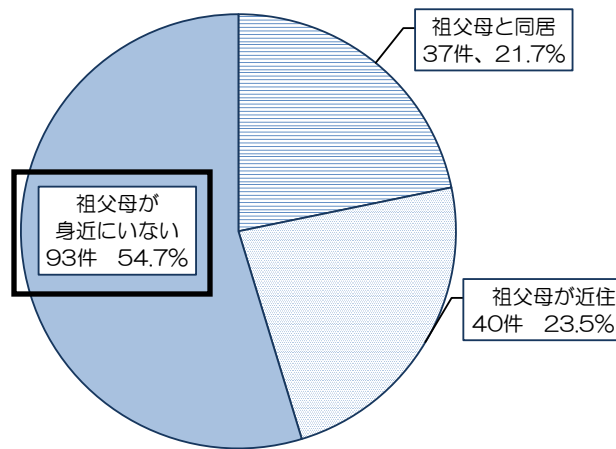
また、きょうだいの構成は、就学前児童が65.3%（472人）でもっとも多く、子育ての負担が大きい年代の保護者が多いと考えられる。

問4 あて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんから見た関係です。（きょうだいをのぞく。）

【世帯構成】



【ひとり親家庭と身近にいる祖父母の有無】



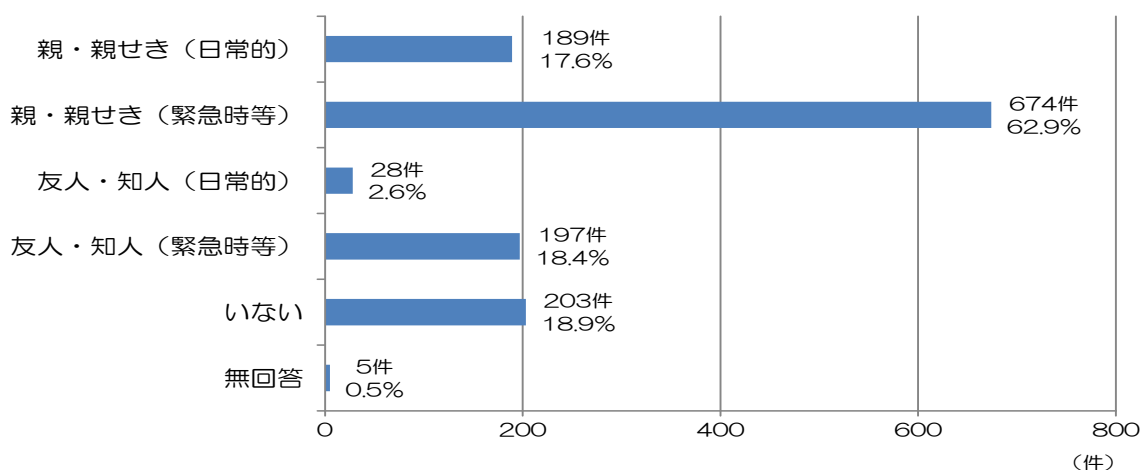
祖父または祖母との同居は 10%未滿で、核家族化の傾向が表れている。  
ひとり親家庭は 15.9%(170 件)で、170 件のうち 91.1% (155 件) が母親のひとり親家庭である。  
なお、ひとり親世帯で祖父母が身近にいない世帯が 54.7% (93 件) あり、ひとり親世帯の約半数は、子育て等で日常的な家族の協力が得にくい状況にあると考えられる。



### (3) 面倒をみてもらえる人

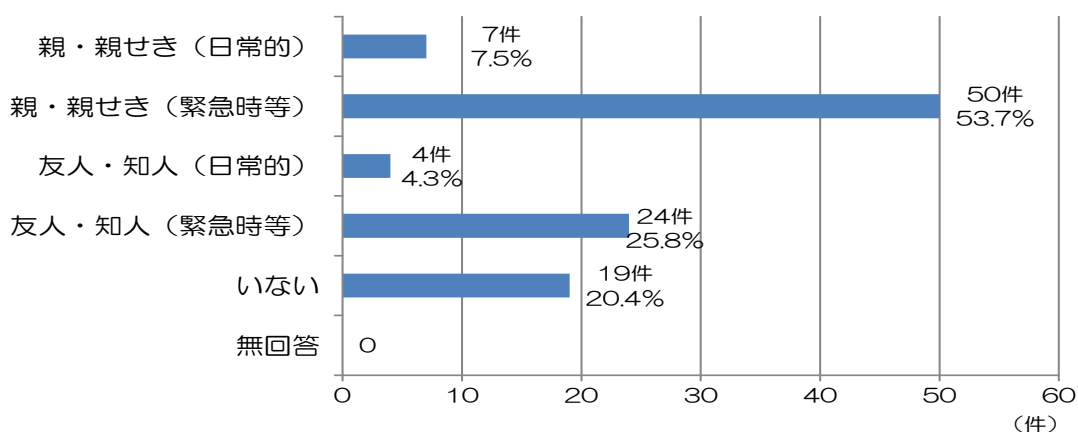
問5 日ごろ、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【面倒をみてもらえる人】



対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,294 件

【身近に祖父母等がないひとり親世帯の、面倒をみてもらえる人】



対象世帯数 93 世帯  
回答数 104 件

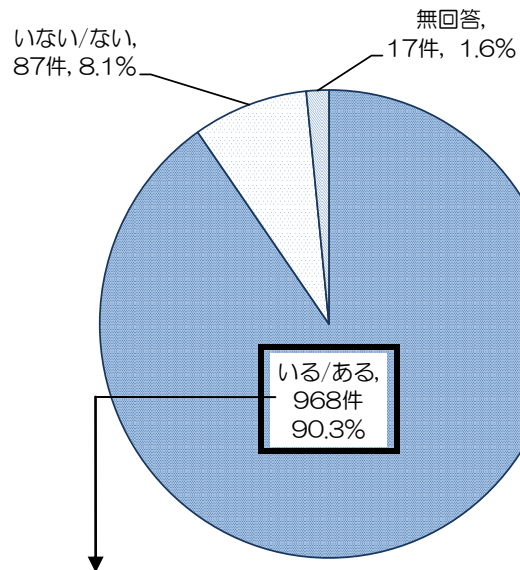
緊急時に、親や親せきに子の面倒をみてもらえる世帯は 62.9%（674 件）であるが、日常的に、面倒をみてもらえる世帯は 17.6%（189 件）に止まり、友人・知人に面倒をみてもらえる世帯は、緊急時でも 18.4%（197 件）に止まる。また、18.9%（203 件）は、面倒をみてもらえる人がいないと回答している。

さらに、問 4（P 7）のひとり親家庭で祖父または祖母が身近にいない 93 件について、親や親せきに日常的に面倒をみてもらえる世帯は、7.5%（7 件）に止まり、20.4%（19 件）の世帯は、面倒をみてもらえる人がいないと回答している。このような世帯は、頼る人がいない環境で子育てを行っていると考えられる。

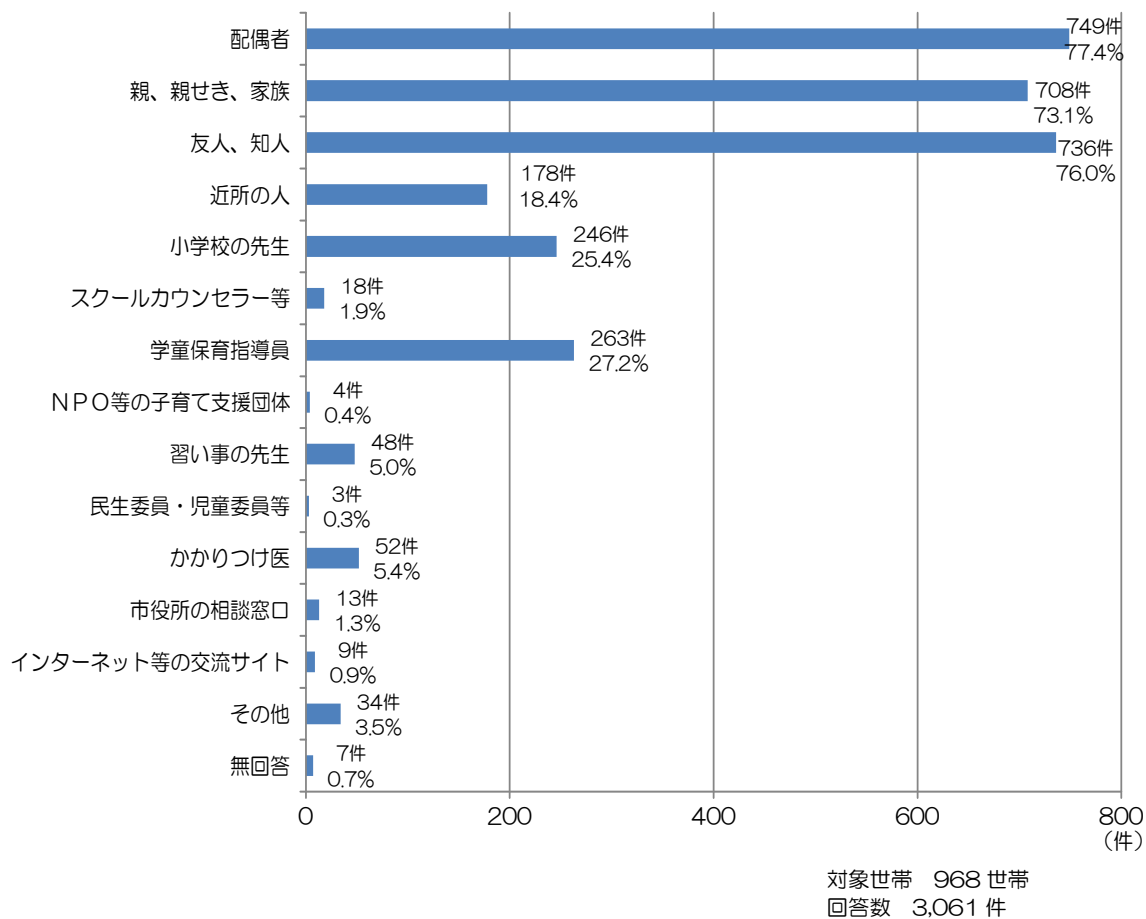
#### (4) 相談ができる人・場所

問6 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

【相談できる人の有無】



【相談できる人・場所内訳】



90.3% (968 件) の世帯が、子育てや教育について気軽に相談ができる人（場所）が「いる／ある」と回答し、その人（場所）については、配偶者・親・親せき・友人などの身近な人が 70%以上を占めている。また、小学校の先生は 25.4% (246 件)、学童保育指導員は 27.2% (263 件)、学校のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市役所の相談窓口は、それぞれ 2%未満という結果で、「その他」の回答では、勤務先の同僚等が多い。

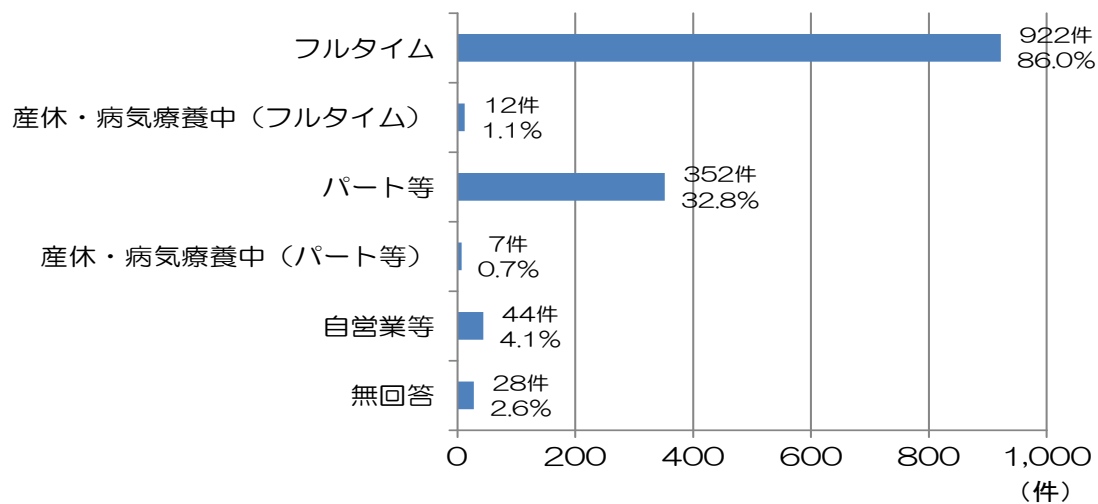
複数回答を求めたところ、回答数が 3,061 件という結果になったことから、保護者は複数の相談相手（場所）を、相談内容によって選択していると考えられる。

しかし、相談相手（場所）が「いない／ない」との回答も 8.1% (87 件) あり、このような世帯は、他者との関わりが希薄な世帯である可能性が高いと考えられる。

## (5) 父母の就労状況

問7 あて名のお子さんの「父親」及び「母親」の働いている状況についておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 【父母の就労状況】



対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,377 件

フルタイムでの就労は 86.0% (922件) でもっとも多く、パート等での就労は 32.8% (352件) で、自営業等は 4.1% (44件) である。

〔3〕学童保育を利用する理由について

問8 学童保育を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ〇をつけてください。

【利用理由内訳】

(単位：件)

就労	1,051	98.0%
家族等の介護	2	0.2%
病気・障害	7	0.7%
学生	6	0.6%
その他	3	0.3%
無回答	3	0.3%
計	1,072	100.0%

対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,069 件

利用者の98.0%（1,051件）が就労世帯、家族等の介護、病気や障害を理由に学童保育を利用する世帯は、0.9%（9件）である。

〔4〕現在の利用と希望する利用内容について

(1) 利用頻度と利用時間

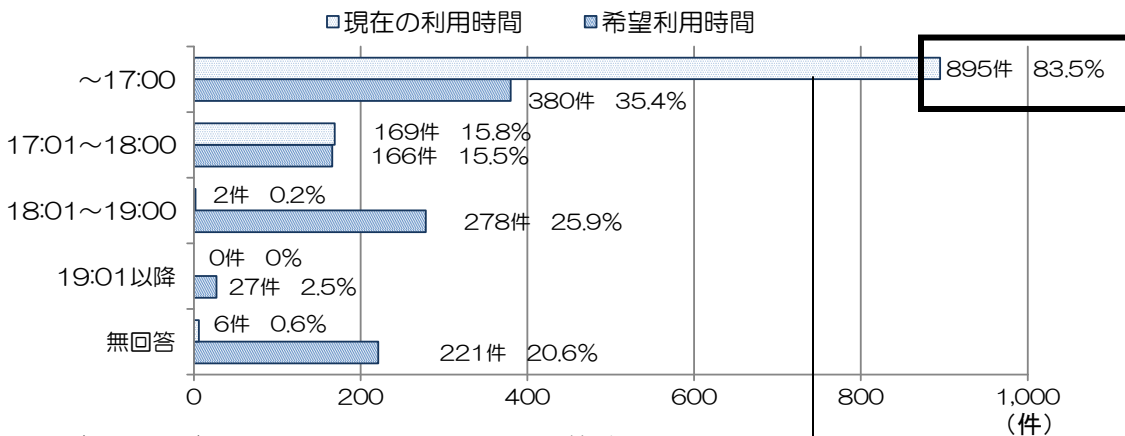
問9 学童保育のもっとも多い利用パターンとして、1週間に何日利用し、また、何時まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

【利用頻度】

現在 (単位: 件)			希望 (単位: 件)		
0~1日	4	0.4%	0~1日	1	0.1%
2~3日	99	9.2%	2~3日	46	4.3%
4日以上	964	89.9%	4日以上	805	75.1%
無回答	5	0.5%	無回答	220	20.5%
計	1,072	100.0%	計	1,072	100.0%

対象世帯 1,072 世帯  
 回答数 1,067 件 (現在)  
 852 件 (希望)

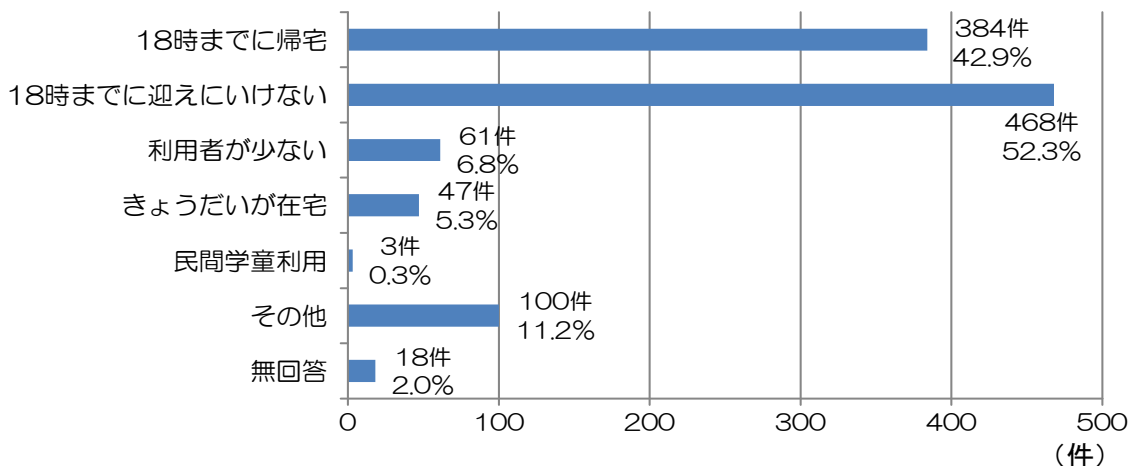
【利用時間】



※ 現在の利用時間の18:01~19:00の2件は、誤記入

対象世帯 1,072 世帯  
 回答数 1,066 件 (現在)  
 851 件 (希望)

【時間延長を利用しない理由】



対象世帯 895 世帯  
 回答数 1,063 件

利用者世帯の89.9%(964件)が週4日以上学童保育を利用し、15.9%が時間延長(17~18時)を利用している。

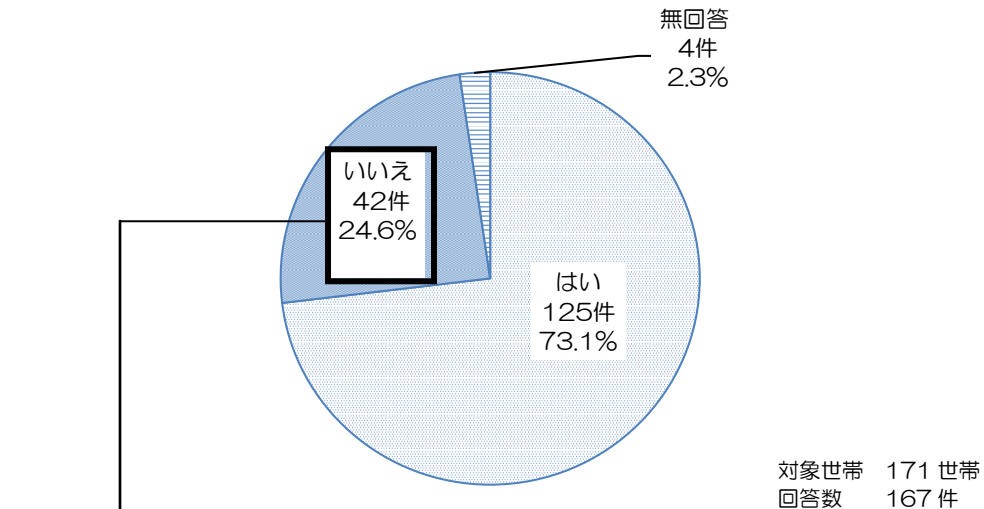
希望する利用内容では、週4日以上の利用が75.1%(805件)、17~19時の時間延長は43.9%(471件)で、時間延長希望の471件のうち64.8%(305件)が18時以降の利用を希望している。また、少数ではあるが週7日の利用希望もある。

なお、現在時間延長を利用していない895世帯について、18時までに保護者が帰宅できるのは42.9%(384件)に止まり、52.3%(468件)の世帯は18時までに迎えにいけないうえに、時間延長を利用していない。

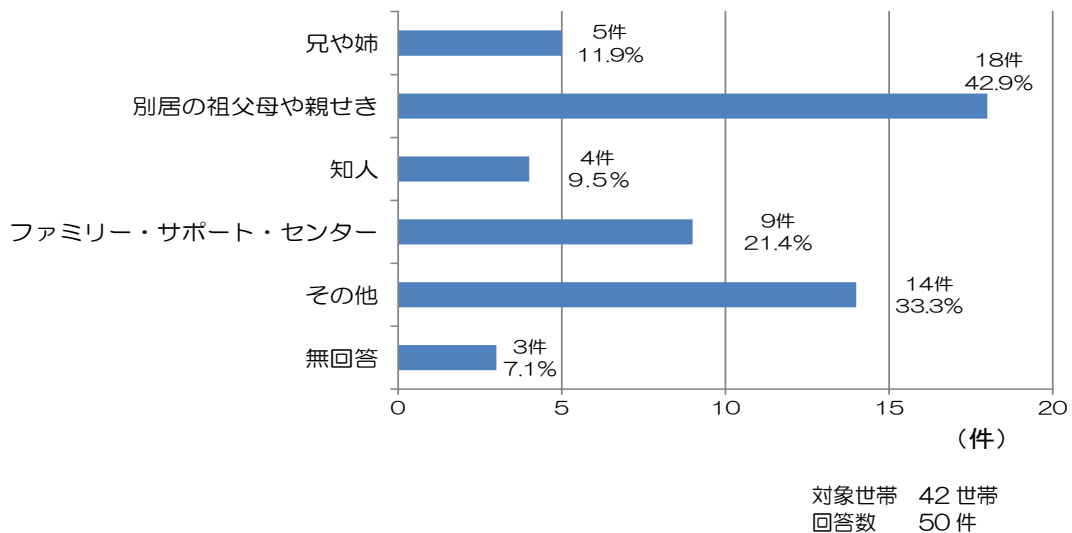
## (2) 時間延長

問10 学童保育の時間延長をご利用の方におうかがいします。18時までに保護者が迎えに行くことができますか。

【時間延長時の保護者のお迎え】



【迎えに行けない世帯の対応】



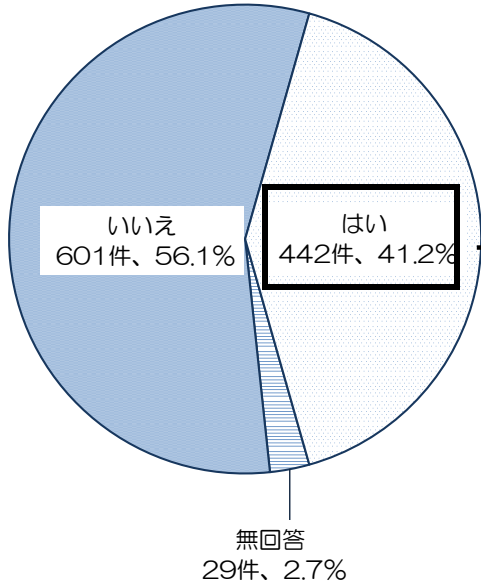
時間延長利用世帯の24.6%（42件）は、保護者自身が子どもを迎えに行くことができない。保護者が迎えに行けない世帯の対応は、別居の祖父母や親せきが迎えに行くが42.9%（18件）、ファミリー・サポート・センターの利用が21.4%（9件）、「その他」には、ベビー・シッターの利用という回答もある。

現状の学童保育の時間延長（17～18時）だけでは、共働き等の世帯が必要とする子どもの預かり時間を補えていないことがうかがえる。



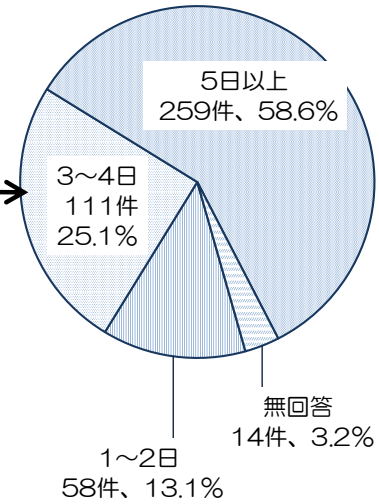
問11 時間延長利用の有無に関わらず、みなさんにおうかがいします。延長時間が19時までになった場合、時間延長を利用したいですか。

【19時までの時間延長の希望】



対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,043 件

【時間延長の利用頻度】



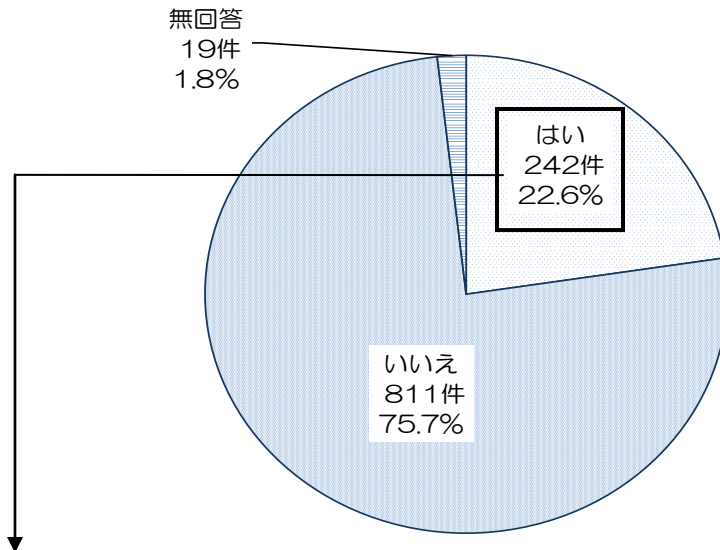
対象世帯 442 世帯  
回答数 428 件

19 時まで時間延長を実施した場合の利用希望は41.2%（442件）あり、その442件について、利用頻度については、58.6%（259件）が週5日以上の時間延長を希望している。

### (3) 土曜日利用

問12 学童保育の土曜日利用の登録をしていますか。

【土曜日利用登録の有無】



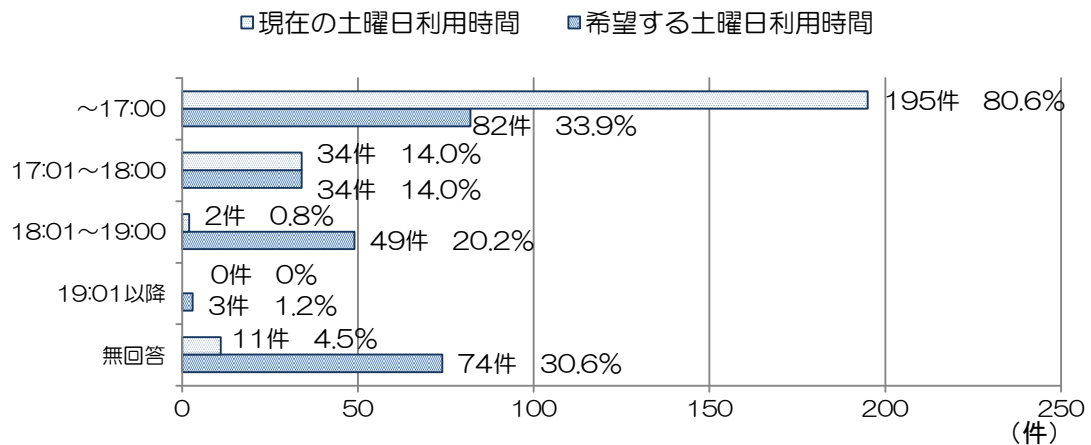
対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,053 件

【土曜日登録者の利用頻度】

現在 (単位：件)			希望 (単位：件)		
0~1日/月	45	18.6%	0~1日/月	12	5.0%
2~3日/月	85	35.1%	2~3日/月	58	24.0%
4日/月以上	112	46.3%	4日以上/月	96	39.7%
無回答	0	0.0%	無回答	76	31.4%
計	242	100.0%	計	242	100.0%

対象世帯 242 世帯  
回答数 242 件 (現在)  
166 件 (希望)

【土曜日登録者の利用時間】

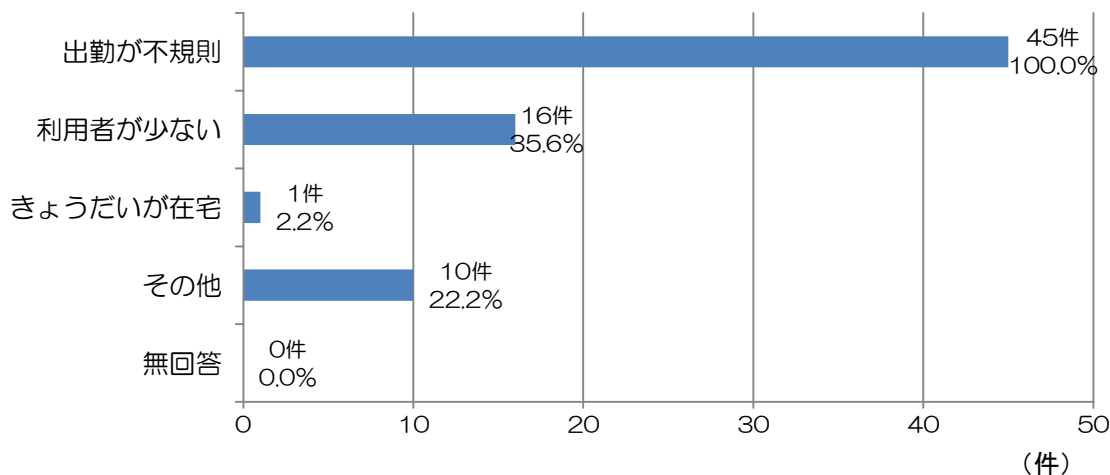


※ 現在の土曜日利用時間の 18:01~19:00 の2件は、誤記入

対象世帯 242 世帯  
回答数 231 件 (現在)  
168 件 (希望)

問12-2 問12-1で「1か月当たりの利用が0～1日」の方におうかがいします。登録をしているが、利用が少ない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【土曜日の利用日数が少ない理由】



対象世帯 45世帯  
回答数 72件

利用者世帯の22.6%(242件)が土曜日の学童保育利用の登録をしている。その242件のうち、46.3%(112件)が月4日以上土曜日利用をし、14.8%(36件)が時間延長(17～18時)を利用している。

希望する利用内容では、月4日以上の利用が39.7%(96件)である。17～19時の時間延長は34.2%(83件)で、その83件のうち59.0%(49件)が18～19時の利用を希望し、また少数ではあるが19時以降の時間延長の希望もある。

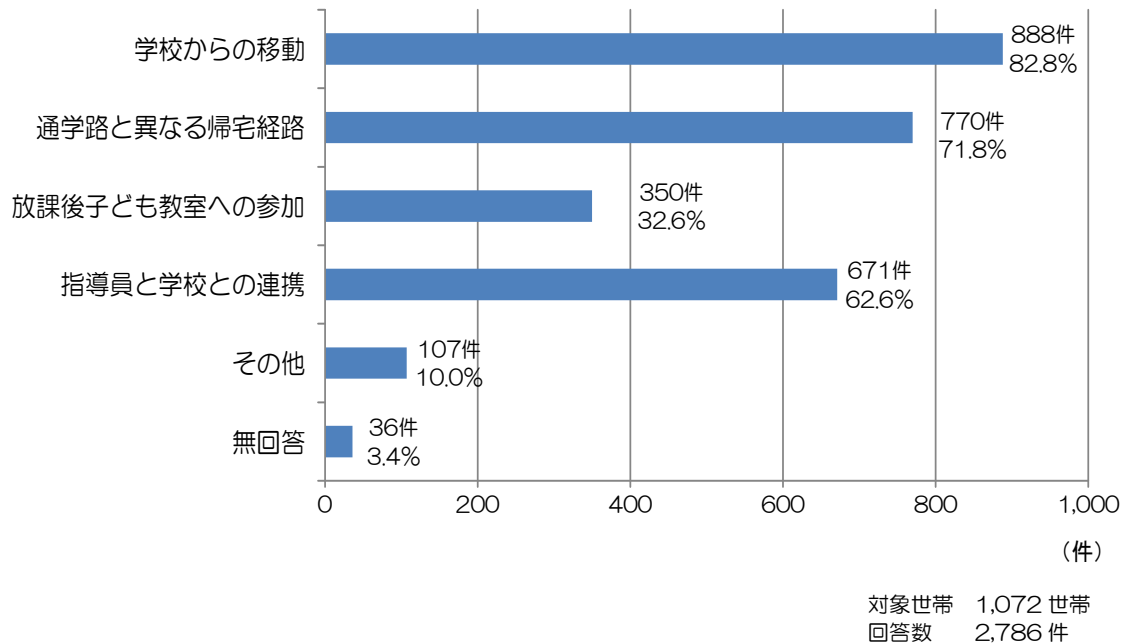
なお、利用頻度が少ない(「0～1日」/月)理由については、45件全件が、出勤日が不規則であると回答し、35.6%(16件)が、利用者が少ないために子どもが登室したがらないと回答し、「その他」の回答では、祖父母宅に預かってもらう等と回答している。

保護者の勤務形態や子どもの気持ちなど、さまざまな理由から、平日に比べると、土曜日利用については利用頻度が低い。

〔5〕敷地外での学童保育の実施について

問13 現在は、学校の敷地内で学童保育を実施していますが、学校の敷地外で学童保育を実施した場合に不安に思うことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【敷地外での学童保育について】



学校の敷地外で学童保育を実施した場合の不安に思うことについては、複数回答を求めた結果、2,786件の回答があり、不安感の大きさがうかがえる。

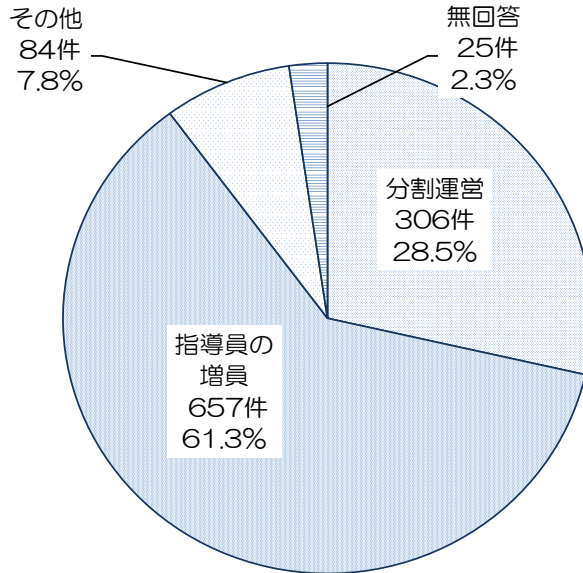
傾向としては、学校からの移動に関することが82.8%（888件）、通学路とは異なる経路での帰宅に関することが71.8%（770件）と、安全面での回答が多く、ついで、指導員と学校との連携についてが、62.6%（671件）、放課後子ども教室への参加については32.6%（350件）である。

また、「その他」107件の回答では、運動スペースの確保が困難と思われること、施設での防犯面からみた安全に関すること、災害等の緊急時に子どもの所在や安否が確認しづらくなること等、さまざまな回答がある。

〔6〕児童が増加した場合の対応について

問14 学童保育室の入室児童が増えた場合、どのような対応を希望しますか。もっともあてはまる番号1つだけ○をつけてください。

【児童が増加した場合の対応】



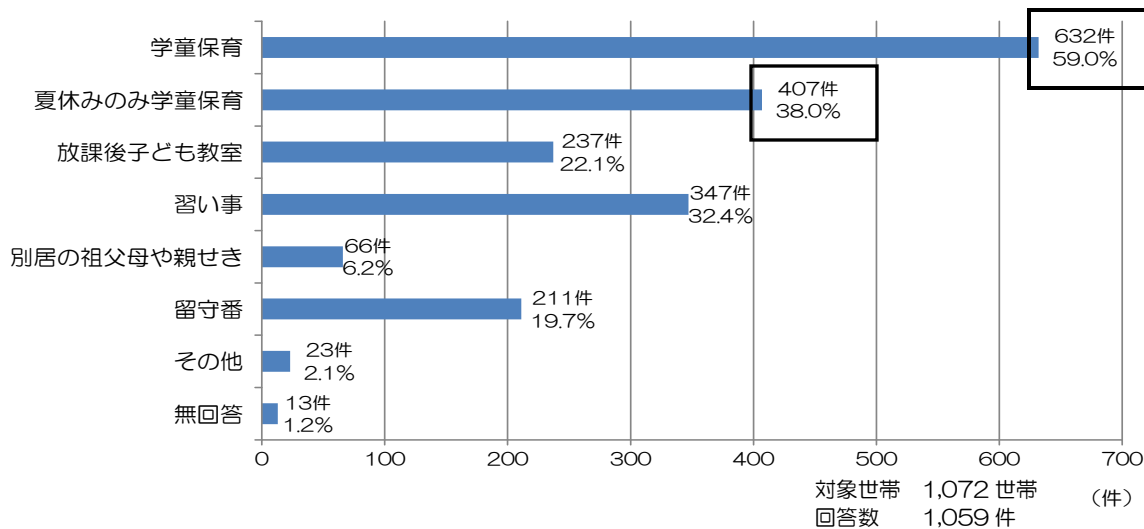
対象世帯 1,072 世帯  
回答数 1,047 件

指導員の増員の希望が61.3%（657件）で、分割運営の希望は28.5%（306件）となっているが、「その他」84件の回答では、「指導員の増員」や、「分割運営」と併せて、学童保育室に十分な広さを求める意見が多い。入室者が増加する現状において、安全面の確保や情緒的に落ち着いた環境の確保の観点から、学童保育室には十分な広さが必要と考える保護者が多い。

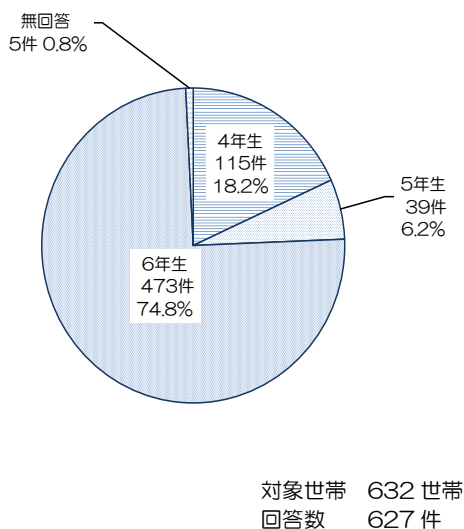
〔7〕 4年生以降の放課後の過ごし方について

問15 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「1. 学童保育を利用」及び「2. 夏休みのみ学童保育を利用」を選択した場合は、枠内に具体的な数字を入れてください。なお、学童保育は、小学6年生までの延長が検討されています。

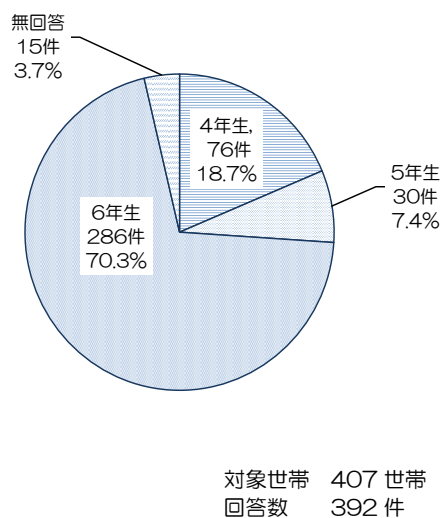
【4年生以降の放課後の過ごし方】



【学童保育を利用】



【夏休みのみ学童保育を利用】



59.0%(632件)が4年生以降も学童保育の利用を希望し、38.0%(407件)が夏休みだけの学童保育の利用を希望している。ついで、習い事が32.4%(347件)、留守番は19.7%(211件)に止まる。

また、「その他」23件の回答では、「安心できる公園や校庭、児童館などで自由に遊ばせたい」や「放課後、学校で自習教室などがあれば利用させたい」、「放課後子ども教室が年末年始以外ずっと開室、又は午後6時頃まで過ごせる子どもの居場所があれば学童保育でなくとも良い」などの意見もあり、放課後に安全・安心に過ごせる場所の形態は学童保育に限らないと考える保護者もいる。

## 〔8〕自由意見

問16 最後に、茨木市の学童保育運営に対するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。なお、ご意見につきましては、今後の学童保育運営の参考にさせていただくもので、個別に回答はできかねますのでご理解いただきますようお願いいたします。

自由意見については、設問の解答と重複して、19時までの時間延長に関する要望や、4年生以降の学童保育利用に関する記載が多く、保護者ニーズの高さがうかがえる。

また、施設・設備の向上を求める要望や、日々の保育内容に関する意見も多く、運営内容に関する保護者の関心の高さがうかがえる。

この自由意見についても、設問の回答結果と同様に貴重なものであり、今後の学童保育運営の参考としていく必要がある。

## 学童保育に関するニーズ調査について(お願い)

皆様には、日頃から市政の推進について温かいご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、茨木市では、児童の健全な育成を図ることを目的として、学童保育を運営しておりますが、多様化する学童保育に対するニーズを把握し、より良い学童保育運営を目指すため、学童保育利用者全世帯を対象にニーズ調査を実施いたします。

以下のニーズ調査にご回答いただき、調査用紙は同封の小封筒に入れ、誠に勝手ではありますが、12月17日(火)までに、ご利用の各学童保育室又は学童保育課に、ご提出いただきますようお願いいたします。

なお、本調査とは別に茨木市では次世代育成支援に関するニーズ調査を実施いたします。この調査は対象者を無作為抽出いたします。別途、調査票が届きました場合には、お手数ではありますが、ご協力をお願いします。

平成25年11月27日

茨 木 市

調査内容などでわからないことがありましたら、  
学童保育課までお問い合わせください。

電話 072-620-1801(直通)



ご記入の際は、平成25年11月1日現在の状況をご回答ください。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。封筒のあて名のお子さん（以下、あて名のお子さん）からみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 父親	2. 母親	3. その他（                      ）
-------	-------	--------------------------------

問2 お住まいの小学校区と、あて名のお子さんの学年をご記入ください。

小学校区	（                      ）	学年	（                      ）年生
学年	（                      ）年生	学年	（                      ）年生

問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さん以外にお子さんがいらっしゃる場合は、年齢についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

（                      ）人
あて名のお子さん以外のお子さん
1. 高校生    2. 中学生    3. 小学4～6年生    4. 小学1～3年生    5. 就学前児童

問4 あて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんから見た関係です。（きょうだいをのぞく。）

1. 父と母と一緒に住んでいる	5. 祖母と一緒に住んでいる
2. 父と一緒に住んでいる（ひとり親家庭）	6. 祖父が近所に住んでいる
3. 母と一緒に住んでいる（ひとり親家庭）	7. 祖母が近所に住んでいる
4. 祖父と一緒に住んでいる	8. その他（                      ）

問5 日ごろ、お子さんの面倒をみてもらえる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的にご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事ときには、ご自身や配偶者の親、親せきにみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人や知人がいる
4. 緊急時もしくは用事ときに子どもをみてもらえる友人や知人がいる
5. いずれもない

問6 あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. いる/ある ⇒問6-1へ 2. いない/ない ⇒問7へ

問6-1 問6で「1.いる/ある」を選ばれた方におうかがいします。気軽に相談できる人や場所などについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください

1. 配偶者
2. ご自身や配偶者の親、親せき、(同居している)家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 小学校の先生
6. 学校のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー
7. 学童保育の指導員
8. NPOなどの子育て支援団体
9. ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾などの習い事の先生
10. 民生委員・児童委員・主任児童委員
11. かかりつけの医師
12. 市役所の教育相談の窓口
13. 携帯電話やインターネットの交流サイト
14. その他 ( )

問7 あて名のお子さんの「父親」及び「母親」の働いている状況についておうかがいします。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. フルタイムで働いている
2. フルタイムで働いているが、今は休んでいる(産休・病気療養など)
3. パート・アルバイトなどで働いている
4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる(産休・病気療養など)
5. 自宅で仕事をしている(自営業・内職など)

問8 学童保育を利用されている理由について、もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保護者が働いている
2. 保護者がご自身や配偶者の親、親せきの介護をしている
3. 保護者に病気や障害がある
4. 保護者が学生である
5. その他 ( )

問9 学童保育のもっとも多い利用パターンとして、1週間に何日利用し、また、何時まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

【現在】

1週当たり( )日、 利用時間( : )まで

【希望】

1週当たり( )日、 利用時間( : )まで

問9-1 問9で「学童保育の利用時間が17時まで」の方におうかがいします。時間延長をご利用されない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 保護者が、子どもの帰宅時間におおむね帰宅できる
2. 保護者が、18時までに学童保育室に迎えに行けない
3. 利用者が少ないために、子どもが利用したがない
4. ほかのきょうだいがあるため、子どもが利用したがない
5. 民間の学童保育を利用している
6. その他( )

問10 学童保育の時間延長をご利用の方におうかがいします。18時までに保護者が迎えに行くことができますか。

1. はい ⇒問11へ                      2. いいえ ⇒問10-1へ

問10-1 問10で「2. いいえ」を選ばれた方におうかがいします。お迎えは、保護者に代わって、どなたが行かれますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 兄や姉                                      4. ファミリー・サポート・センターを利用
2. 別居の祖父母や親せき              5. その他( )
3. 知人

問11 時間延長利用の有無に関わらず、みなさんにおうかがいします。延長時間が19時までになった場合、時間延長を利用したいですか。

1. はい ⇒問11-1へ                      2. いいえ ⇒問12へ

問11-1 問11で「1.はい」を選ばれた方におうかがいします。希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり（ ）日

問12 学童保育の土曜日利用の登録をしていますか。

1. はい ⇒問12-1へ      2. いいえ ⇒問13へ

問12-1 問12で「1.はい」を選ばれた方におうかがいします。もっとも多い利用パターンとして、1か月に何日利用し、また、何時まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。枠内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

【現在】

1か月当たり（ ）日、 利用時間（ ）：（ ）まで

【希望】

1か月当たり（ ）日、 利用時間（ ）：（ ）まで

問12-2 問12-1で「1か月当たりの利用が0～1日」の方におうかがいします。登録をしているが、利用が少ない理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 土曜日の出勤が、不規則である
2. 利用者が少ないために、子どもが行きたがらない
3. ほかのきょうだいが家にいるため、子どもが行きたがらない
4. その他（ ）

問13 現在は、学校の敷地内で学童保育を実施していますが、学校の敷地外で学童保育を実施した場合に不安に思うことについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもたちが学校から移動すること
2. 子どもたちが通学路とは異なる経路で帰宅すること
3. 子どもたちが放課後子ども教室に参加しにくくなること
4. 指導員と学校の先生との連携が難しくなること
5. その他（ ）

